

### Ⅲ. 大阪港・・・・・・・・・・社団法人 全日本釣り団体協議会

#### 『中学生親善魚釣り大会』

- ◆ 開催日時 平成 22 年 10 月 30 日 8 時～14 時
- ◆ 実施場所 大阪港港湾緑地シーサイドプロムナードC 護岸
- ◆ 現地担当団体 大阪府釣りインストラクター連絡協議会 (JOFI 大阪)  
NPO 釣り文化協会
- ◆ 参加者  
中学生 120 人、青少年指導員 40 人  
釣り指導員：釣りインストラクター14 人（内水質調査員 8 人を含む）
- ◆ 開催の趣旨  
釣り指導にあたり、釣り技術ばかりでなく、ルール、マナーの指導や自然環境の知識、清掃活動もあわせて指導した。
- ◆ 概況  
開催場所の釣り場は大阪港海浜緑地公園で従来釣り禁止の場所であった。  
しかし平成 20 年に行われたパブリックコメントを受けて、21 年に大阪市港湾局、有識者、全釣り協など釣り人代表によって開かれた「立ち入り禁止問題検討委員会」の結果をふまえ、安全柵、遊歩道利用者のための危険防止柵などを含めた工事が完成し 10 月 1 日から開かれた場所である。
- ◆ 開催状況  
大会開催当日は、台風が紀伊半島沖を通過した翌朝。  
大阪市内から約 140 人が集まり、アジやイワシを狙ってサビキ仕掛けを垂らし始めた。釣りインストラクター達が巡回して慣れない中学生達にアドバイスをする。  
“海との上手な付き合い方”というのがサブテーマだけに、全員がライフジャケット(救命胴衣)を着用。  
最初は満潮を過ぎたばかりで潮は動かず、魚が釣れてこない。  
退屈するかと思ったが、全員熱心にさお先を見つめている。釣りは初めてという 3 年生の女子グループにこの日の初獲物のイワシが釣れた。  
潮が動き始めたのだろう。近くで 17 センチほどのアジも姿を見せたが、その後アタリは遠ざかってしまった。釣り終了後全員で釣り場清掃を実施した。  
午前 10 時過ぎから釣り文化協会による大阪湾の水質の現状説明および水質調査を实

施。貧酸素や青潮による生物の影響を説明した。

塩分濃度の溶存酸素を測る水質調査をやってみると、みんな興味津々。

表水温は21度、水深6メートルでは22度、透明度6メートルという澄み切った大阪湾に「意外にきれいな海や」とびっくりしていた。

北風と潮のせいで最初あまり釣れなかったようだが、審査を開始すると、イワシやサヨリ、ボラなどが次々と釣れてあちこちで歓声があがった。

アウトドア活動の経験はあっても、海に触れる機会の少なかった中学生達の元気な声は釣果以上の爽やかな印象を港に残してくれた。

13時から雨が降ってきたが、交流会は無事終了。

これからも毎年行いたい、各区別で釣り教室を開催したいなど希望を聞いて解散。

#### ◆ 実施状況



釣りインストラクターの説明を聞く中学生達



リールの扱い、釣り方、釣り場マナーの説明を受けて釣りを開始する。救命胴衣も着用する。



管理規制が改正され、釣りもできる場所になった港湾緑地



大阪湾の水質現状説明を受ける



全員で釣り場清掃をした後にバーベキューを楽しんだ。  
釣り好き少年達と情報交換をしたり、爽やかな楽しい1日を過ごした。